当会における血糖緊急報告対象者の推移

◎鶴間 純[1)]、佐藤 祐美[1)]、小柳 博明[1)]、松田 和博[1)]
一般社団法人 新潟県労働衛生医学協会[1)]

【目的】当会では受診者の糖尿病早期治療を促す目的で、血糖検査に緊急報告値を設定している。緊急報告値は段階的に引き下げており、空腹時血糖値は 300、250、200mg/dL 以上と、随時血糖値は 500、400、300mg/dL 以上としてきた。今回、平成 23 年度から平成 30 年度までの緊急報告値を集計し、その効果について若干検討したので報告する。

【方法】平成 23 年度から平成 30 年度に当会定期健康診断を受診された、のべ 1,999,286 名（年平均 249,911 名）を対象に、現在の報告値となる空腹時血糖 200mg/dL 以上、随時血糖は 300mg/dL 以上の対象者数と割合を比較した。

【結果】

空腹時	H23	H29	H30	平均
受診者数（名）	130,117	124,941	133,167	122,874
対象者数（名）	752	567	584	590
割合（%）	0.578	0.454	0.439	0.480

随時	H23	H29	H30	平均
受診者数（名）	127,900	121,283	145,566	127,037
対象者数（名）	409	292	306	323
割合（%）	0.320	0.241	0.210	0.255

【考察】平成 23 年度と平成 30 年度を比較すると、空腹時血糖、随時血糖ともに対象者数、割合は低下していた。段階的に緊急報告値を引き下げてきたことで、より早い段階で治療を開始し次年度以降のデータに改善傾向がみられたものと考える。

連絡先 025-370-1022（内線 302）